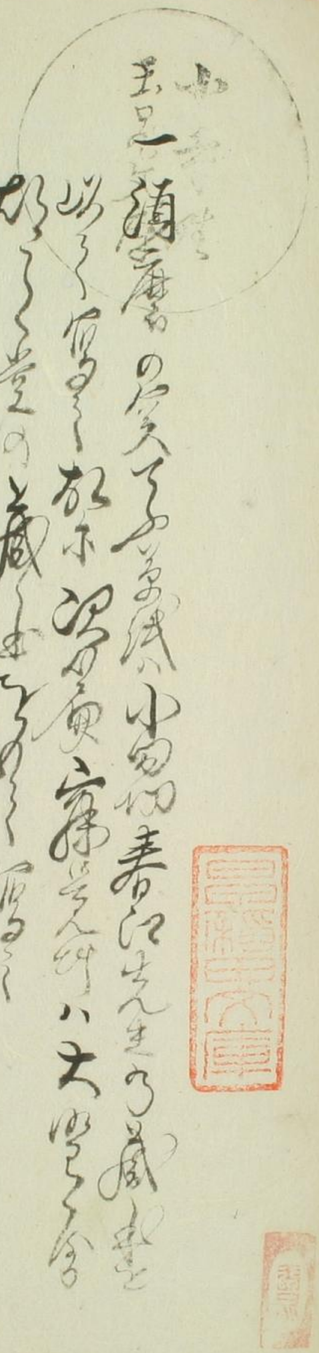
壽萬廼勢袁
寛草
風流女舞姿画圖

特別
14
696
42

696
42



書生いの勢舞自序

此頃は世上はなしに花街武の婦女踊曲綾目ーより是を
ぬれしみしのに思ふかみれしも文なくし我のこゝやるもあれ志を留む
ましかく書やまのおとろへ美文終り此際として其
真つゝとふ一年ね生き百物也小中山の大門を過ぎる繰りなりね出へて
此所も中やまれさかなきゝ方もなし探るふ十軒茶屋馬場
そのとのうつらくいるすゝきあまき是や此のある絵師の
きのふ今日うちましとのとせこのから
此日早暮にみし一面もなの出もせし出宿とかしまつとまる
あかずししあらる月の有山の端にして行末を文いふあるへきも
そぬひひとぞ大ししと大悲の希み合掌しも心の深ひ人ぶしくん
婦女なの例へ何をの人ともこふそて到ん中も申すなる女
本の名のふ此か舞踊らすしらへていの終ふる紅葉をも年もの大せ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

寛政十二

[illegible]

[illegible]

[illegible]

知

[illegible]人諸侯曰。一花依年世。[illegible]小菊[illegible]。中女。生而者。京弥九年過。[illegible]者而高貴美[illegible]。[illegible]月。

主来[illegible]月[illegible]。御[illegible]。[illegible]大[illegible]つ[illegible]馬[illegible]。[illegible]。

相[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]。

宴[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]。

一[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]。

[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]。

北[illegible]。[illegible]人。[illegible]言曰。[illegible]。[illegible]。

[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]。

[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]。[illegible]。

是柄恰如宅札鐵積口只根拙手之瑞南北解也婦然忍
美色篤吉折乙訊入於武場御慶托役華語甚盛
可以見ん哉千目之所謂千子之派搭安漱花北宏之主を
為貪価千是以路照名先生為為先人他丹子テ閲候
其世流布之間如於閲下見授撲打子之印曰光みかて
鳴先生之好文一任如総張雲亭と嶺手闘禅先生
挿既於庭則出花張他扇数以字出南から青年
為後日證文依如件云爾

丑年　月　日

立九撰干[illegible]

馬場氏加成

之場の之母南の方ま七丘之堤保より安めさ方ま印鄙之と此神由生会く
此之方幕地家の之多し女子家納大地根家之家御の数の事御多
安八まる給る多返又我御事ま多の諸家御ま御返又御書御
又給之る二つ額めい々宜の我御の返又花俗中まて出ままやかる
之母の帷子轄之種山めへまつ母の緒さ安之
齢世御あきみのさ妙系事ね系袁襟南き西之ろ又安之母
語等時安る比堂表る松松返又二安之堂比返ゑし　安合
之る場之塩と妙つく出る

以上

御之帷子より中中故紙の御紙母の母る安婦物を目
角之物の中挙御中中掛ま日同之もく々く此
出申也出生の之角る之行申しの不同の由て見阿代凡納る書
北村源之市

右手無之様之不田年中中及凡教之方の
[illegible]

夫いふ年も大なるの名とかしこる本 昔々荒馬を綱の由来千
せいぶ年言行書かれ あるべき御年に 福年はあらし 辛てかし 遊きて 一気
[illegible]馬術秘密の名綱最ハ書とす 本せん流ハ流とのい
かしの道ハ[illegible] 志ん以て[illegible]名綱ハ馬の名[illegible] 志れハ見
ゑさ[illegible] 其せちれ[illegible]とし如くる西にて為拾とせ
名時えちくさい[illegible] 二之時ハせくい[illegible]なれのさつものいゝ
いゝく 昔せんのかんにて 冥立ちくさと対くの[illegible]折くて 雪
[illegible]とくるハ 是せんかくやと 思ふ折ふ 昔の[illegible]
しるへ あるとくの武江 門やこ 荒馬を制し二ツ之
あるとを志んまで 我[illegible]へ[illegible]の[illegible] 是也る[illegible]の徒
ゐ服をと 出馬の徒とも 又我[illegible] ハ[illegible]の[illegible] 秘門制[illegible]
[illegible]荒一[illegible]の日本生れ[illegible]の秘[illegible]に 用[illegible]
出来[illegible]とも 中[illegible] [illegible]の月その[illegible] 流[illegible] 中[illegible]ハ

二[illegible]年ハ[illegible]ハ方ちゝ[illegible]の名綱の名[illegible] 強[illegible]ハ
部[illegible] 右[illegible]ハ部[illegible] 強[illegible] 出せ[illegible]
中[illegible] 月[illegible] 荒の[illegible]四年 莫四年[illegible]四年[illegible]
十[illegible]年の[illegible]者[illegible] 馬術[illegible] [illegible]ハ 石[illegible]
ころ[illegible]ハさんせる[illegible] ハ[illegible] 志[illegible]部[illegible]
又七けつ九けつハ天の七星九星とよ加し[illegible]綱ハ[illegible]とあらん
くつ[illegible] あふ[illegible] 飛[illegible]日月[illegible]
[illegible] [illegible]ハ[illegible] [illegible]
出[illegible]馬の水[illegible] [illegible]綱[illegible] 下
[illegible] 名[illegible] 長日上[illegible]
[illegible] 荒[illegible] [illegible] 今日の
[illegible] 橋[illegible] 橋馬[illegible]
[illegible] [illegible] 切[illegible]

東西〳〵此方様ハ別段今吾様ハ三番叟と四賢と本三番叟
迄〳〵ハ三ツの故実五ツの義とあるゆゑ四賢と本いろ〳〵
分段ハ本来もまた段〳〵吾様〳〵と安置してもまるやこと
三番叟

今吾様ハ三番叟の段ハ馬をとりはなせて動ハ
三ツ物ハ我ハ所作ハ
今吾様〳〵あるゆゑ物ハ海の厨と
あるゆゑ物ハ
あるゆゑ物ハ
光厨様ハ而楽屋様と一
さの事ハ一切厨様ハ楽屋様と一
元の厨様ハ
楽屋様〳〵

帰りまで〳〵あるゆゑ物ハ
あるゆゑ物ハ
あるゆゑ物ハ
あるゆゑ物ハ
光ハ者の供ハ
行ゑのなるゆゑ
楽屋様ハ
楽屋様ハ
馬ハ
馬ハ
東西〳〵

[illegible]

一さんのかけ

[illegible]

以上

[illegible]

源氏の名殿

[illegible]

[illegible]

口上

口上

口上

東西

夜討

可

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible] 家来の誰じや [illegible] ハイ [illegible] 家来の可内でござりまする [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible] 又今ハ [illegible]

[illegible] 冰の如くなる刀を [illegible]

[illegible] 観の歌 [illegible]

切腹 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible] 文蔵 [illegible]

[illegible]

[illegible] 太鼓 [illegible]

[illegible]

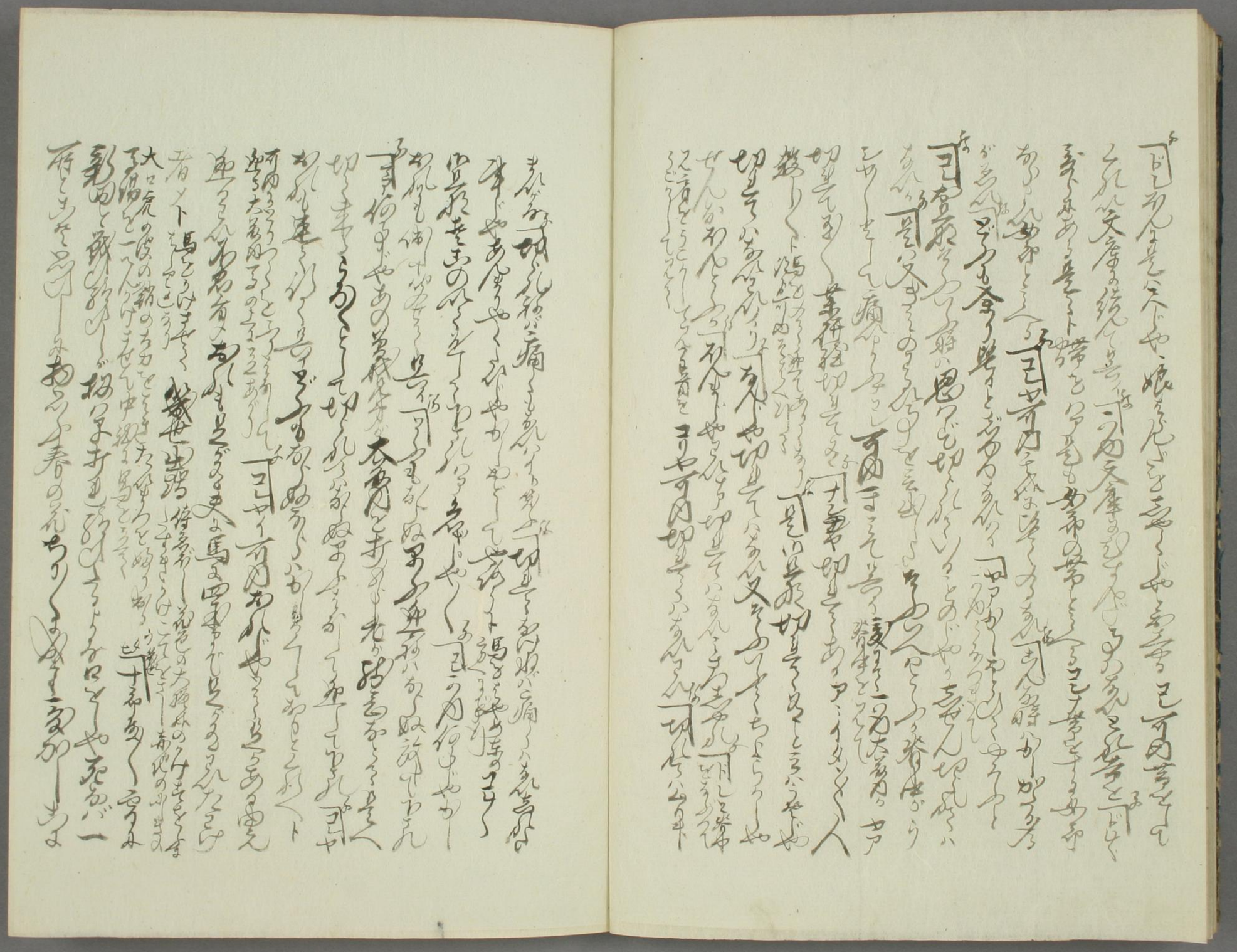
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

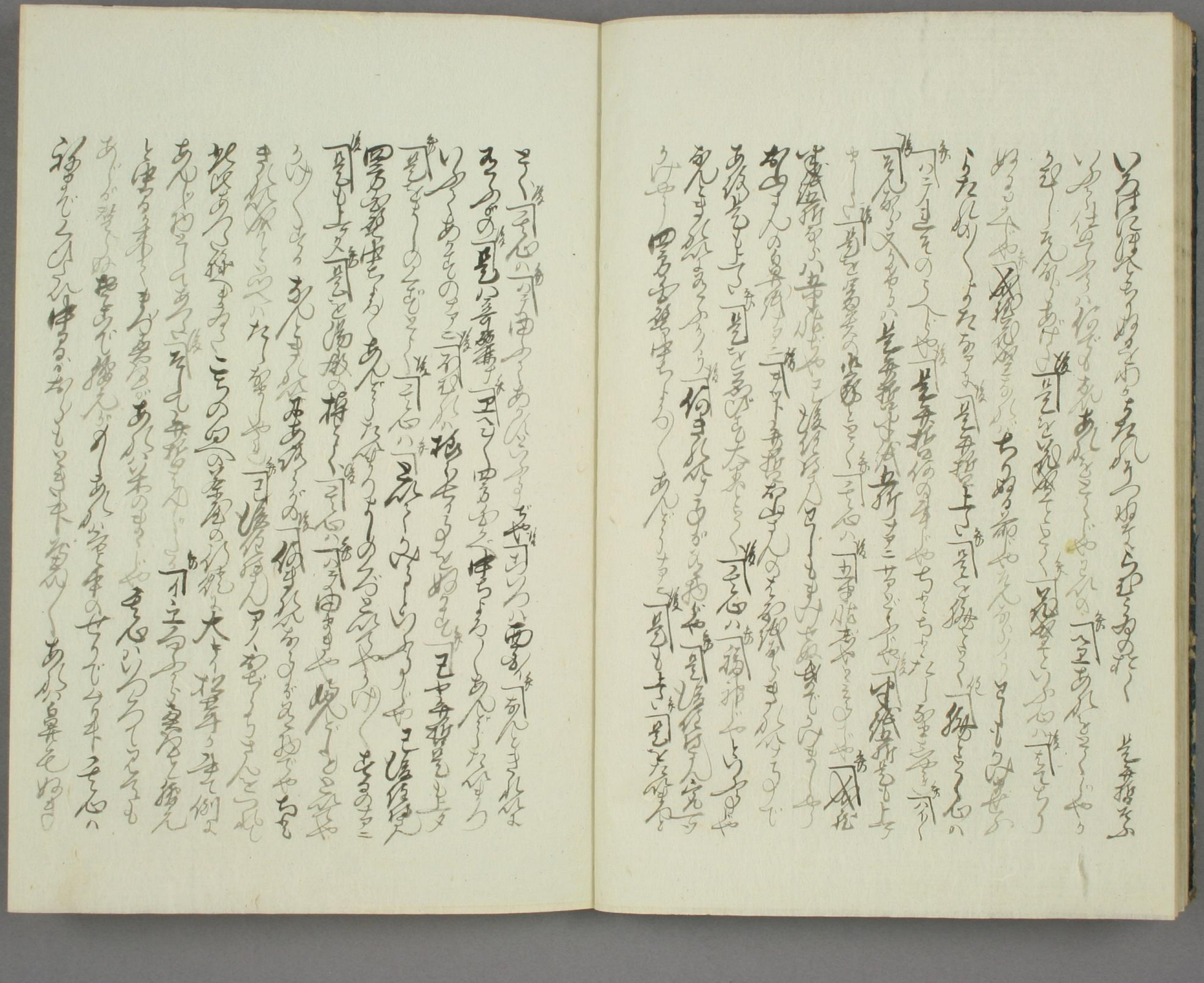
一腰 [illegible] 行 [illegible] 天ハ [illegible]



新道成寺

文 [illegible]
[illegible]「[illegible]」[illegible] 大切な [illegible] 七日
[illegible] 文ハ [illegible]
[illegible]「[illegible]」[illegible]
[illegible]「[illegible]」[illegible]
[illegible] 文 [illegible]
[illegible]「[illegible]」[illegible]
[illegible]「[illegible]」[illegible]
[illegible]「アヽ [illegible]」[illegible]
ビツクリ [illegible]
[illegible]「[illegible]」[illegible] 者ハ [illegible]

[illegible]「[illegible]」[illegible]
[illegible]「[illegible]」[illegible]
[illegible]「[illegible]」[illegible]
[illegible]「[illegible]」[illegible]
[illegible]「入ヱ [illegible]」[illegible] 二世の [illegible]
ちよき [illegible] 切 [illegible] 文 [illegible]
[illegible] 文で [illegible]
[illegible] 三十の十八 [illegible]「ヨ [illegible]」[illegible]
[illegible] 文 [illegible] 三十の十八 [illegible]
[illegible]「[illegible]」[illegible] 七 [illegible]
[illegible]「[illegible]」[illegible]
[illegible]「[illegible]」[illegible]
[illegible]「[illegible]」[illegible]



[illegible]

「[illegible]

[illegible]上るり[illegible]

[illegible]

「[illegible]

[illegible]手拍[illegible]

「[illegible]上るり[illegible]

[illegible]子供[illegible]

[illegible]あのよふに[illegible]

「[illegible]

[illegible]

[illegible]上るり[illegible]

「[illegible]

[illegible]上るり[illegible]

[illegible]

「[illegible]

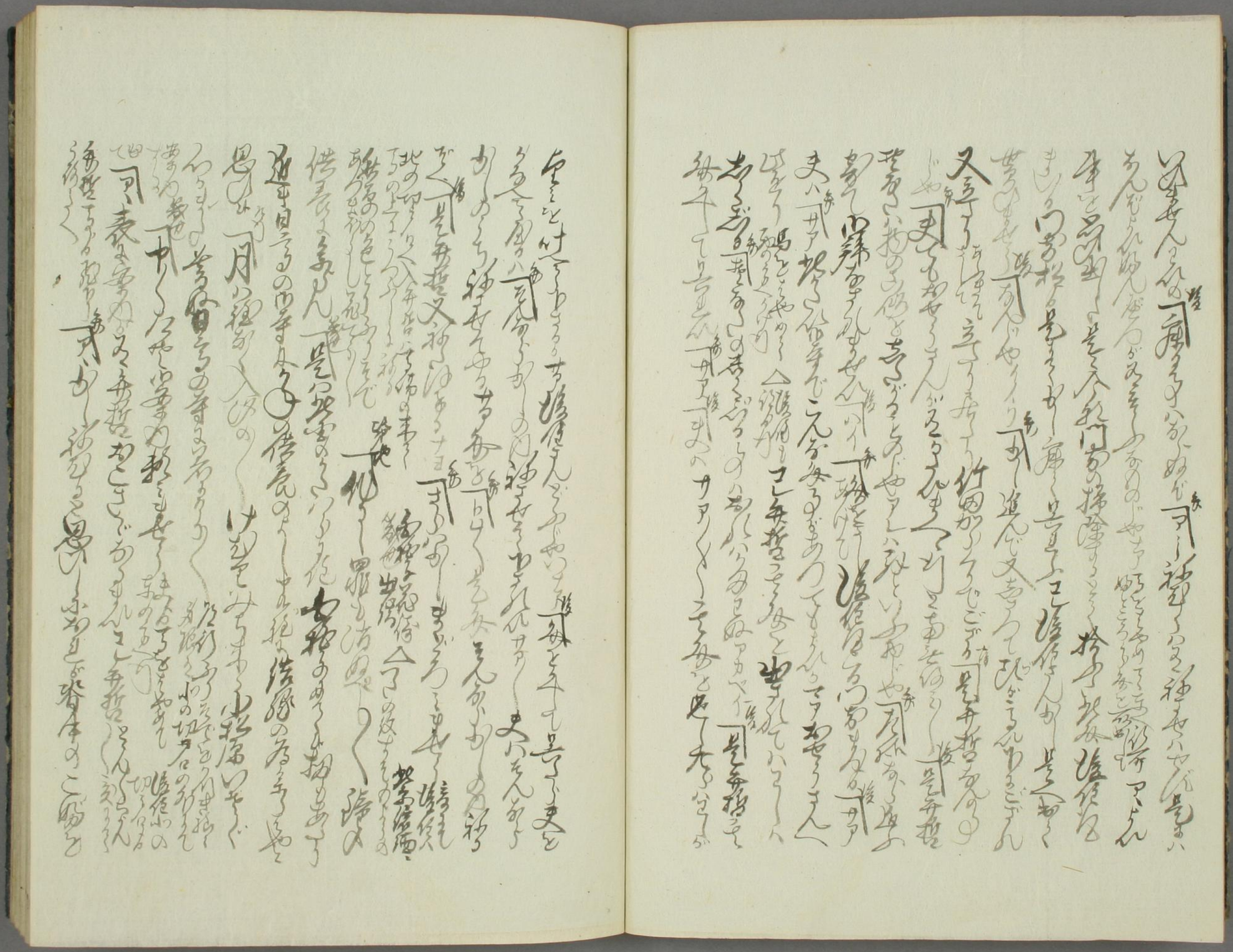
「[illegible]

「[illegible]

[illegible]花嫁[illegible]

「[illegible]

「[illegible]

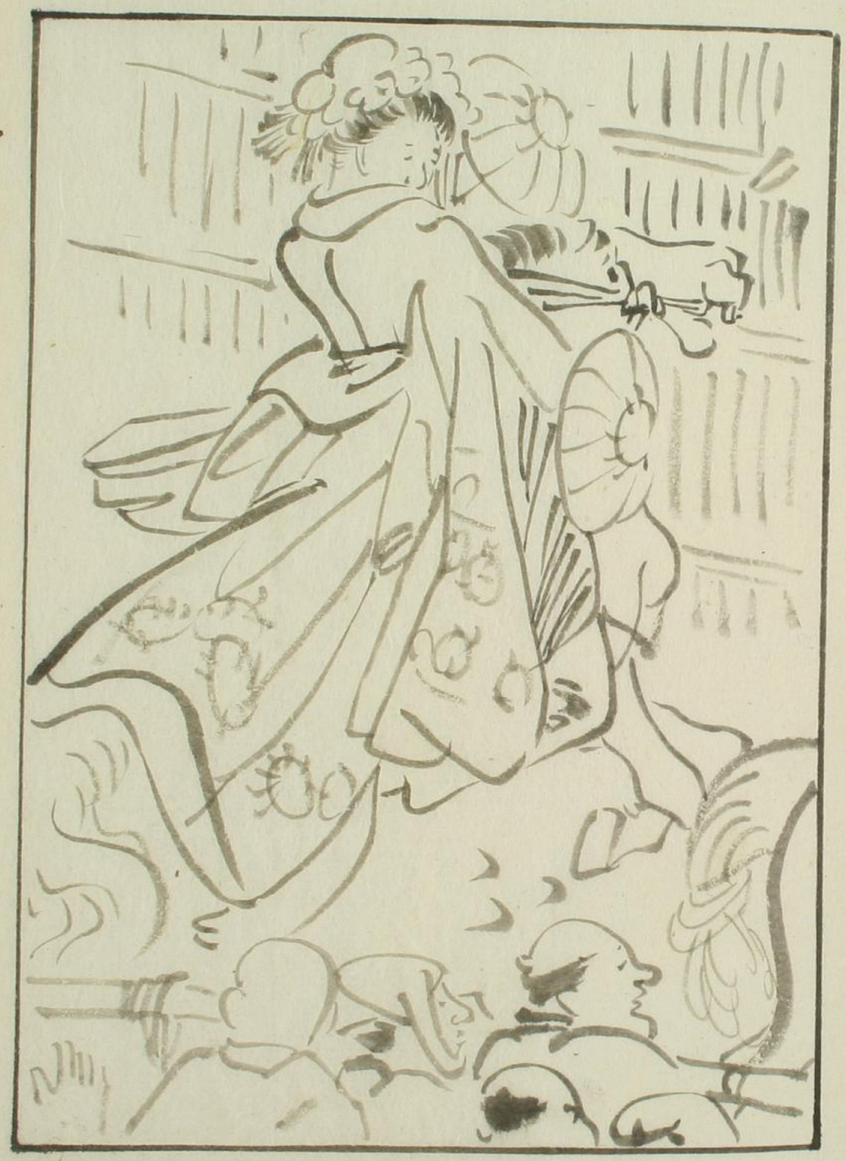


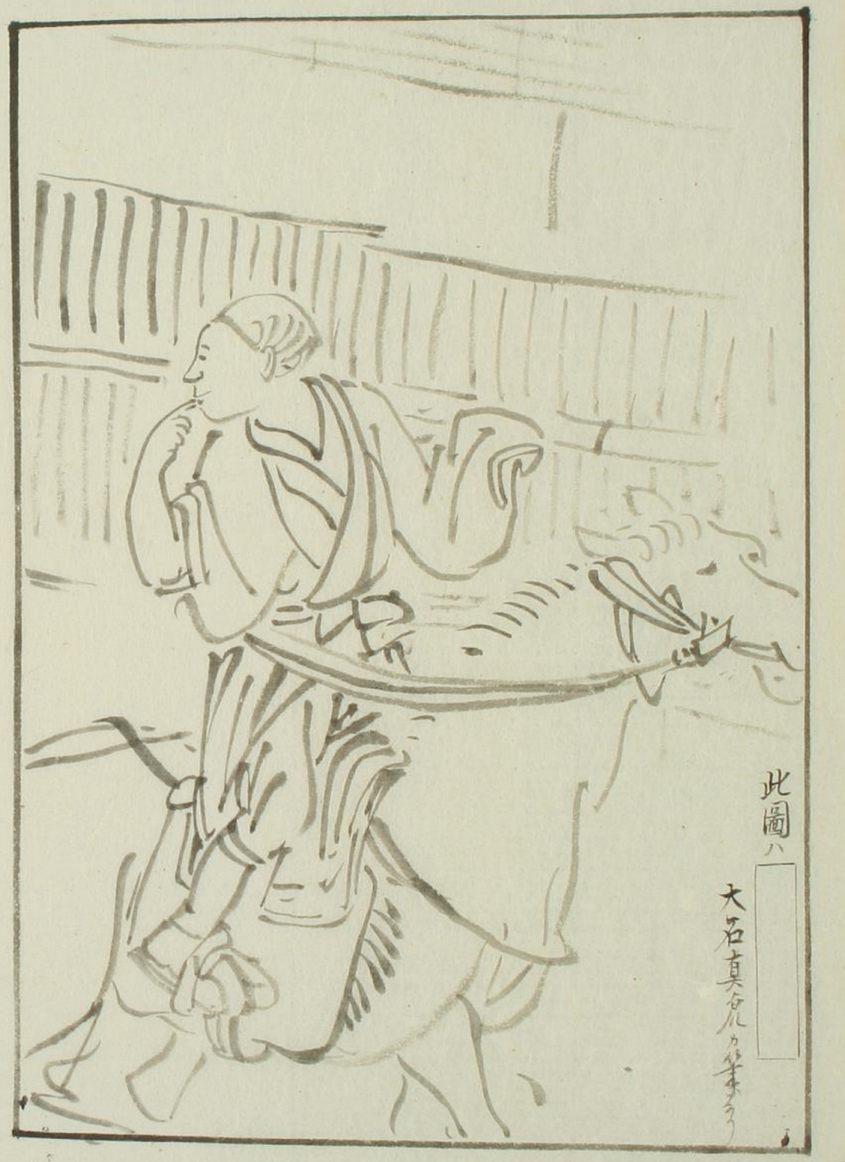
嫁めしからも細物の仕業あつハらも増しハらいつかしれ事ぢやち
夜のうち馬に「是弁指文ハ君遣す弁「ハテござれ後早あそびあそびある
ほろのりト「是弁指表と案内ござる弁「ハテマア夫よりもこゝらと
御当家の是御作人表も書物抑成あつて来るが穴といふあり
先ごもあるに後「是弁指雑も穴の事ハむかしの安案内なれバ弁「安案内なれバ
後「何程知つておつかまつてござらぬ弁「おうちあの外に似合ぬ成
拙者の御柱時分や本奥のうちのうちにせし弁指切つて来つてあれ
一合も空もとりおろして表に穴あけることのうで来る文で御座
これあれハ来るあのハ文あり庄の使なるにいふといせし弁指切りて
又弁指ばかりで是にいふにかも使何よりも構へかやうにてあらう
お手うち出来かハ捌く腹の三年じやなけれど後作の例く後「ヨ弁指
はりや何のうちや弁「是程の杉茸ハいくらもあり世に後「サイ弁指茸の相場の

事ハいつのゑぬ表の案内ハぞいかどやあらぬ笑て来るがのアノイ弁「ハイサアいえどイ
有りてあ方も夫あら義世の例くハ捌つこぶ上に義世の身のそく見の義世の君と
馬のうちの外まつて抛の夫ある武ハ相関のれて大丈夫あろうそ自ら取りのの家がだ
そうつの家の都で言ひの御ハ五本あか作る義世の例くの捌抑と前く弁指よりの本
左の様お面ものにて夫方弁「ヨイ進せかれけさ夜の弁をの通すかゝ
とハいふとのいたつかれかやアア来るなれにハ地「ゴザんなゝ
まてなれ咄事の思ふなせつうれ女性が来るといふなれバこざんなく
家とのうちに来る事本る案にてあつて弁ハうちに後「ヨ弁指何の事じや安案内ハいうことやいや地「こざんない
後作とありかくの世にあるいて仕方御作の事か知い
ゑ来るがかゝ後「ヨ弁指何の事ハ何の事じや弁「弁「此面所
京の弁「夫ハ四方じや弁「三四方ゝ地「きういふれなくこれく何がか何やそこ何が来
弁「本生のあの姫とのが来る後「何じや杉茸でも来ころ弁「イヽコ杉茸入る箸と来る
後「ヨ弁指やうになのかんおかの来る弁「アノういかがなかも来る後「何と
いふで来る弁「弥にや後「ヨくくゞてござるか弁「ハイ夫は義世の例ぐすの二コ事お
まゝハいつかゞ物にいかう弁「ハイ弁「咄あてて作事柄あるとはが

此等ハ大切な隠の借衣のごぜん様より頼まれて参りましてござります
せしまん甘んす「マア何んの御らうぢや　人ハおあつかり候　舞もあまり案じます
之お前さんも舞手さまとてあそびにでもあるのもしれぬ　隠の
借衣のわがまゝにのせしやれと　住ひもよめぢや　将軍家の多くといふもので
掛隠衣ハ子三言四人の内でいちどにさらつて　一ツ家の
るもので行くものはすんのさ「さんなら何んぞ　ハ子三言四人の内の
前ちやの　一ツ家の者ぢやとも　いふてもいふてもいふてはすむまい
衣の人「アゝなるほどそれハ　いやぢや及ぶまい　それハ此様の
とやしの出家がござるならば　文と言あさん　上のとゞくいふてするめ
さてもしも喜ぶ様子「さんはしの言ひ　加くの住居もがくあり
加ゝうは今もおぢやる「よういふ「ハイ「あちらの言ひ「ハイこちら
三千人浄ヘ三ツ「ハイ「然ハ　浄きまこの申らしい坊さん喜ハイ共ト
ろ稲　顔の形はまあ元気な和尚さんの病身で
此楽者中のこどもが　わけもなく出てよそ行きのなんの気ナア

「お前さまでも御座りますか　よろこんで一ツお頼みせんと思うたアあの嬉しそうな
此方も既ならば　言う馬だとも申して　お前何をおいでなさいましてアキヽ
以前申されたら　掛隠の借衣をおすゝめ申して上でお前の隠の
借衣のよは文いたせとおつしやる「いやまた文がござるさかい馬とあるゝ
おけで喜んで居る「隠居どの「さん言ひ「手ゝ一ト侍ひの為に言ふてくれ
おやして居るへ「あのあおい　なんだかあんセト　これ何にも隠居の側へ行く
鳥かぬかけて　舞はいで　それとも思ふ　手の御あいさつで天狗を乗
世に至りた「お客さん」のわらひ　やは申さば是八将軍家の「「コレ何の御座候安徳」
至る両所へ「コレ申御　文の遣ひつゝ藩を辞か御相談であろ「イヤ主
あはれ見てはばかり「ござれ　申して次ハ隠居の借衣のお出なさるゝ　よう
て御ざりまするとしよ　あかしもしあはせておくれ　ものかはつくる「コレ何の御相談ぢや　主を遣ひて
お前共せてあるのでござるかしらん「ござる「申「ヲゝお嬉しいさう「イヤア
さて女しも「コレ御　何かから出る人目附　　御前尤な心配を見せ




此圖ハ
大石真元ノ筆ナリ

口上

東西〜先達て御尋ねの義ハ

先達て

口上

東西〜先達て御尋ねの義ハ

先達て

口上

東西〜先達て御尋ねの義ハ

先達て

口上

東西〜先達て御尋ねの義ハ

此村伝之丞花御殿御役指出す姫の役に此村左衛門今にも
浅間嶽御出されハ是へと出られまする
浅茅一家
浅之助ハきつと捕へん
日本のまもり是ハ国の為ぢやアヽ是ハ身の上にも此村天下の掟文字を
目出度是ハ国の宝ぢや本望一家が分る目出度と出かける
出雲へ来る所へ出かけて
山嶽八方ゟ出来る所に出るハ是ハ
ゑ者がいつても来ます所ハ是ハ文字を
あつかいし出直しまする
是その大小の心をこめし目出度
てんまりふかい大事の「コレヤ出まし
おそれ入りました「引立てる
新侍の大小をも出すとハヤヤ
「根ありしを申す

ちよつと是を致す諸侍の大小ハ命より大切な物ぢや
いつまでも大切に申しまする「是ハ命のこと
志賀さま「是ハ抜ても出来ぬ
が刀のつばにはまる大事の命ハ天下の大事
住まいをして天下の大事と切る
三刀のつばにも大事を切る「大事
諸侍とふくまる今大事の心がこもる
まいすぬ事にいつて
三月大将にて武道の志にて諸侍の命
武のうで今とすつといふハ
にかの侍ハ文字を
あつきれ「コレハ文出来る
居ハ「是にも我れに天下の
「是ハ申してつかハ

[illegible]

いろ〳〵とかとおんぐんから馬ハいつ〳〵までも「[illegible]白[illegible]木[illegible]
の[illegible]馬の子[illegible]まで[illegible]馬ハ若[illegible]と揚[illegible]
[illegible] 上 東[illegible]〳〵[illegible]七ら〳〵の〳〵ト[illegible]ハ山の[illegible]がくとろどし
ゴヤアあれ[illegible]ハ[illegible]のかつうじや〳〵と[illegible]うけこむし 上 東[illegible]〳〵出ん〳〵
[illegible]ハ入[illegible]〳〵[illegible]〳〵山[illegible]西[illegible]
[illegible]〳〵東[illegible]〳〵[illegible]

上

東西〳〵[illegible]ハ[illegible] [illegible]村[illegible]
[illegible]合戦を御覧に入[illegible]
とゞ〳〵テン〳〵

[illegible]合戦

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

三番目揚馬

[illegible]

紅葉狩

[illegible]

戲馬行

美人戲馬大繁昌　人を奉走寺川傍
先見丹青繪看板　思教我を戲馬場
木戸口群集成市　踏躇刀創奏甚如狂
漸被押入而入　力論大入垂仕方
一切立見馬上曲　縱橫飛躍似龍翔
前藝未藝左妙手　口上詳述緑衣扇
嬢道戎寺是最上　夜討曽我亦垂礦
借問家寵二女事　遂頃天產那尋常
姉者幾世妹小菊　兄弟稱名住洛陽
仙姿圓色動都雪　皓齒清唇又新腸
一笑千金喜衆客　二女風流君可賞

為光子題

序

[illegible]

[illegible]

[illegible]

序

[illegible]

[illegible]

[illegible]

又[illegible]千[illegible]

之如子也[illegible]人曰之曰茅代之時[illegible]如[illegible]青

一刻[illegible]千金[illegible]先奴

[illegible]鬟[illegible]

雖小[illegible]可[illegible]北也[illegible]赤[illegible]子の戲馬行

[illegible]美人戲馬大[illegible]昌人を奏走寺門傍先見

丹青繪畫板思教[illegible]戲馬場未[illegible]口群集

成不[illegible]礼劍[illegible]其如狂漸被押入而臨地

勿論大入無往方一切立見上曲[illegible]

[illegible]騰似龍翔前藝和藝[illegible]妙手口上詳述紙

衣[illegible]娘道成寺是最上夜討曽我赤[illegible]

借問[illegible]二女事[illegible]近江天[illegible]非尋常姉妹

世姉小菊兄弟檀[illegible]在洛陽仙[illegible]國色歌

[illegible]季語嵩清聲又新陽一[illegible]金喜[illegible]

二女風流[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

地蔵之圖
花籠小菓

花籠菓屯

女曲馬初真行之芸賑合之圖

新道成寺

文化三年丙寅春興行

武三番三

小菊事
樋口金吾

千歳

めでたさ
ぞ
わかゝ
ゝ
ふ
ゝ
ゝ
潮の水
たゝぬ
そゝ
ゝ
ゝ

見物の人

万年もつきぬ常盤の
菊叶ちゝやたゝ
ゝ
ゝ

七化
金吾

「狐狸奴
古狐

其

草刈

樋口小柳

小柳女は幾世が
息女なり幼き
頃より赤子の曹嵩の
妙術を受せり中にも
七化の草刈の姿を示し
「ぢけてくれ刈
ちりも面白き世界の
うつりかはり
有難し」

忍草賣
狐の美女
狐の
目をさまして
きつねの化の
きつねあんか

其四

男騎方
美稚

芦原崔

金吾

柳吉

○子持山姥

栁吉

柳

小柳

其二

美和丸

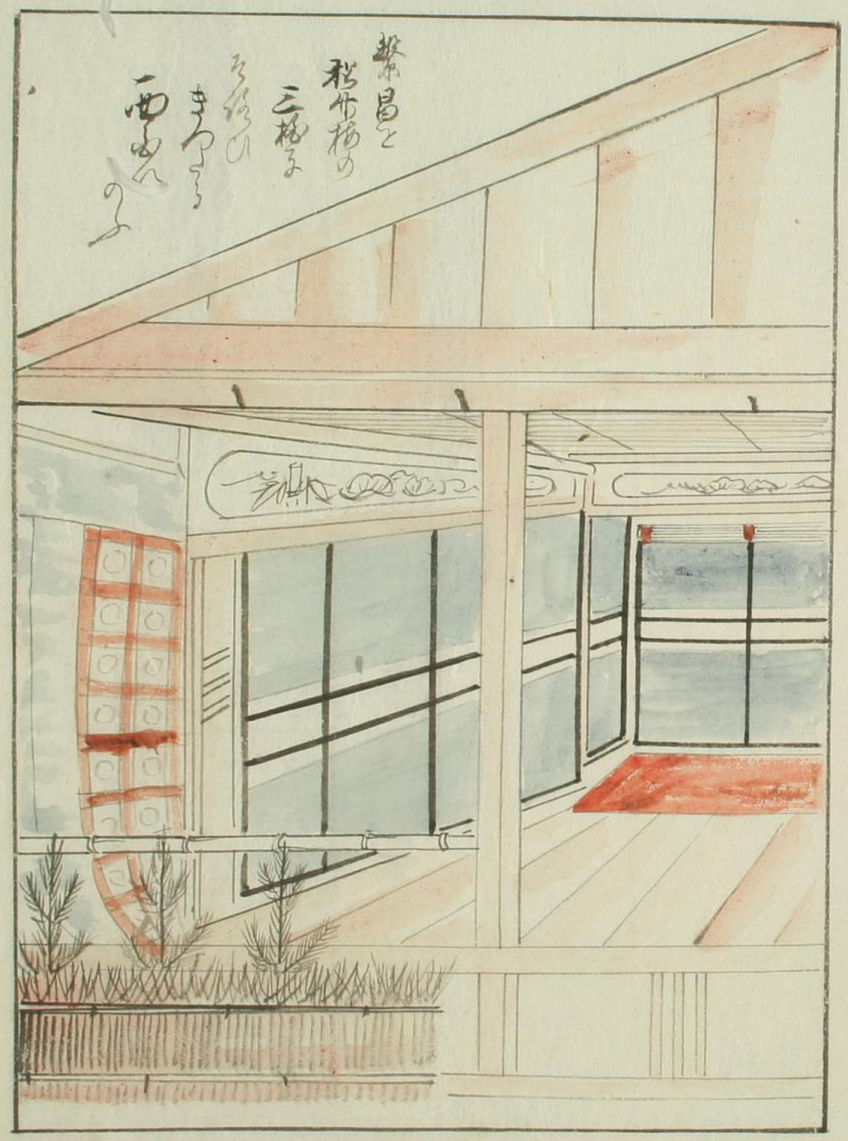
序

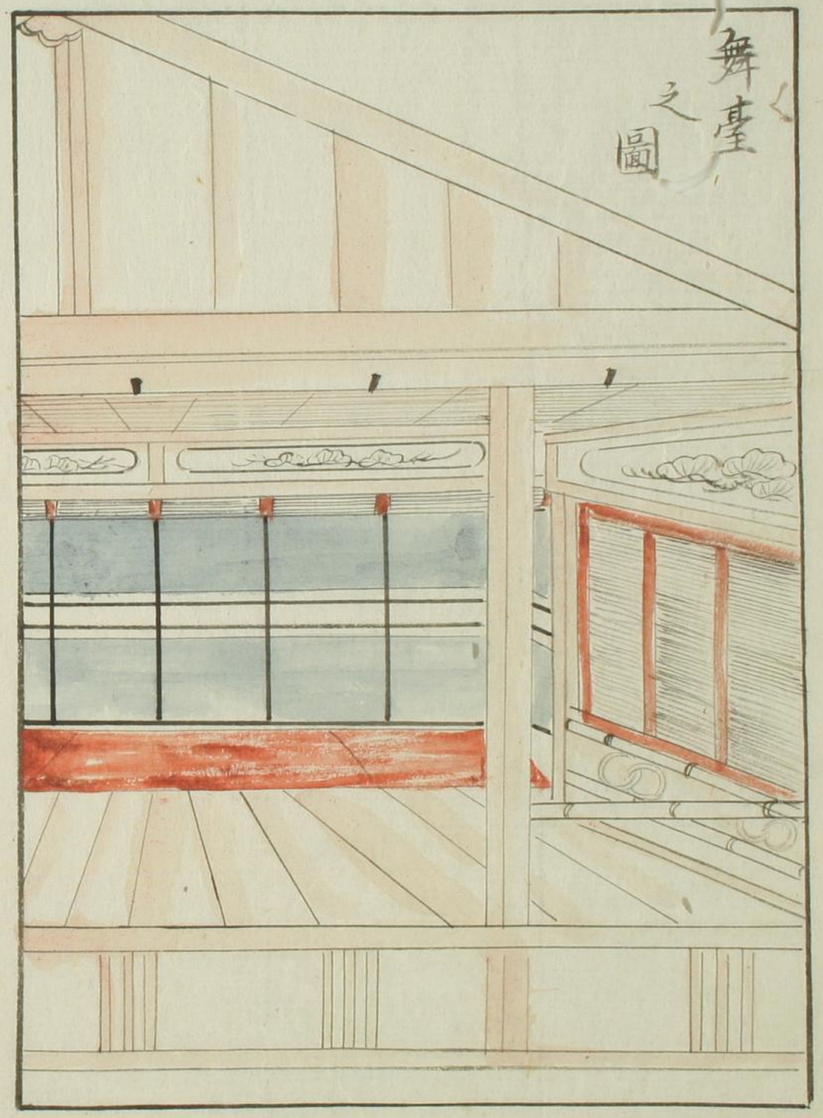
[illegible]

昨年の春より腹を立て歌舞伎をうち
止て浮世絵を二度れ錦絵数多
業仕[illegible]の[illegible]
[illegible]
[illegible]

太夫 井上春の
太夫 井上松枝
大入

太鼓




舞臺
之圖

口上のてん

腸の
閑口上を
演ずる

前義
ものみせ人形

人形
文句の
前義
ことばつき
男まさり

翁式三番之

大入の

千歳　福治

三人の
鼓は
役の
ゆき
ぶん

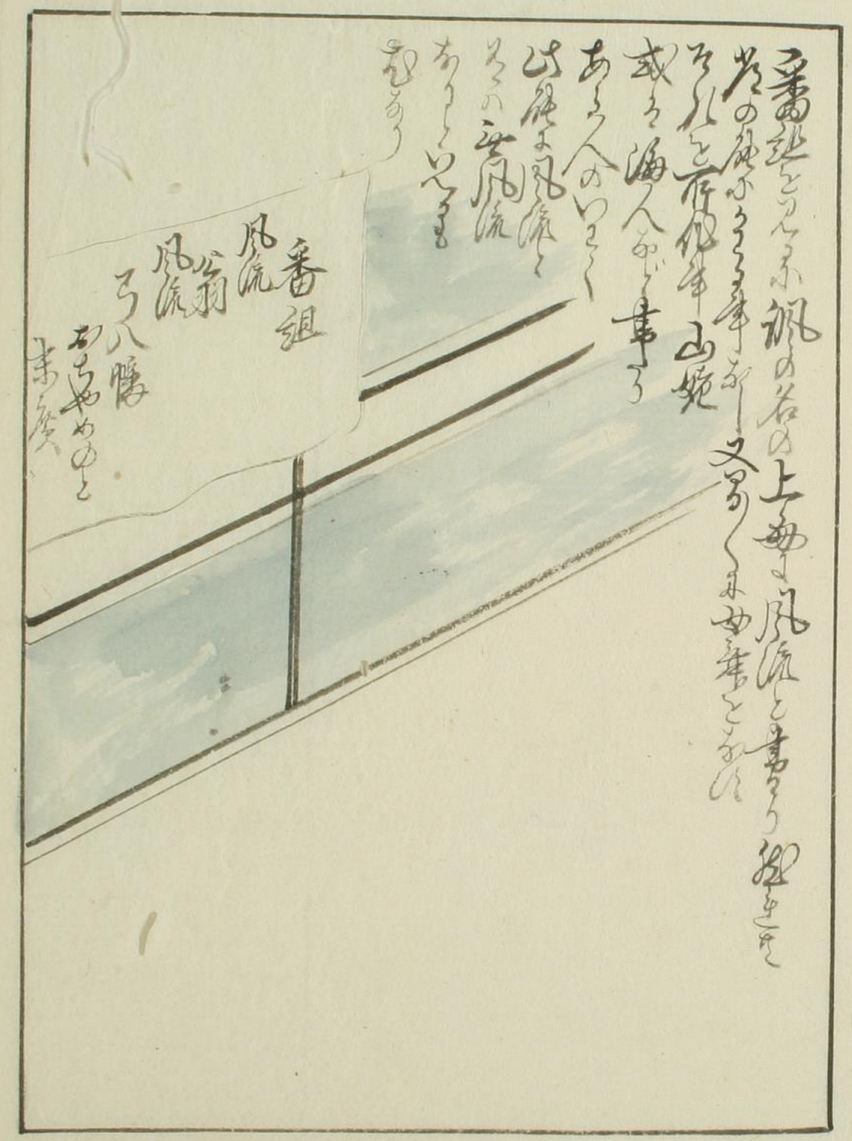
囃方さ〻かさのてん
表の笛板ゝ笛大鼓の役も女のゆゝしき書おせや笛大鼓ハ
男都ゝ式三番三の役ハ三板の鼓ハ鼓なるもかあり
琴ものかんざしいとゝもあくつ板さゝゝゝ加ハ〻
あゝとんゝまゝ男の立まゝ〻ゝ
似ものあきゝゝ〻あ仕
弓ゆゝ花ゝ葉の板と
ゝ〻ゝ
ゝ〻ゝ
ありける

菊之舞
みさ
みさを

ちよ
梅の

三番之
初の

三番之
仕出
百四文
切れらるも
無り山ぶり



高砂の能

三人行燈

甲乙

迎

十三夜と名づけ
いとうつくしき
名月なれども
あるべきものあり
なるべし

芳年下く

梅の花ちらで
初春
月もさえの
甲乙

梅花

あくまでもよし
神代の昔その
初り八神代の昔その
始り八神代の昔その
結ぶ大吉の年の初の
日梅も春の
宮の内
宮の内
月の
月の
月の

三人行脚

相撲

四社

風流
所化舞
井上松枝
海人

一の松枝が
三番
如年
麦人
松枝

海人
玉の段

松枝